

5.7 景観

5.7.1 工事の完了後

(1) 調査事項

調査事項は、表5.7-1に示すとおりとします。

表5.7-1 景観における調査事項

区 分	調査事項
ア 予測した事項	計画道路の存在に伴う主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度、代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度
イ 予測条件の状況	事業計画（計画道路の位置、構造）
ウ 環境保全のための措置の実施状況	【予測に反映した措置】 <ul style="list-style-type: none">・平面構造の車道の両側に可能な限り植樹帯を設け、緑の連続性の確保に努めます。・鶴牧区間の車道の北側に新たに植樹帯を設け、緑の連続性の確保に努めます。・既存の街路樹を可能な限り保全します。・電線類の地中化を図り、快適な道路空間の確保に努めます。・多摩市都市計画マスタープランに基づき、周辺と調和した街並みの形成を促進する多摩市の都市軸として、景観形成に努めます。・鶴牧区間の擁壁を緑化します。

(2) 調査地域

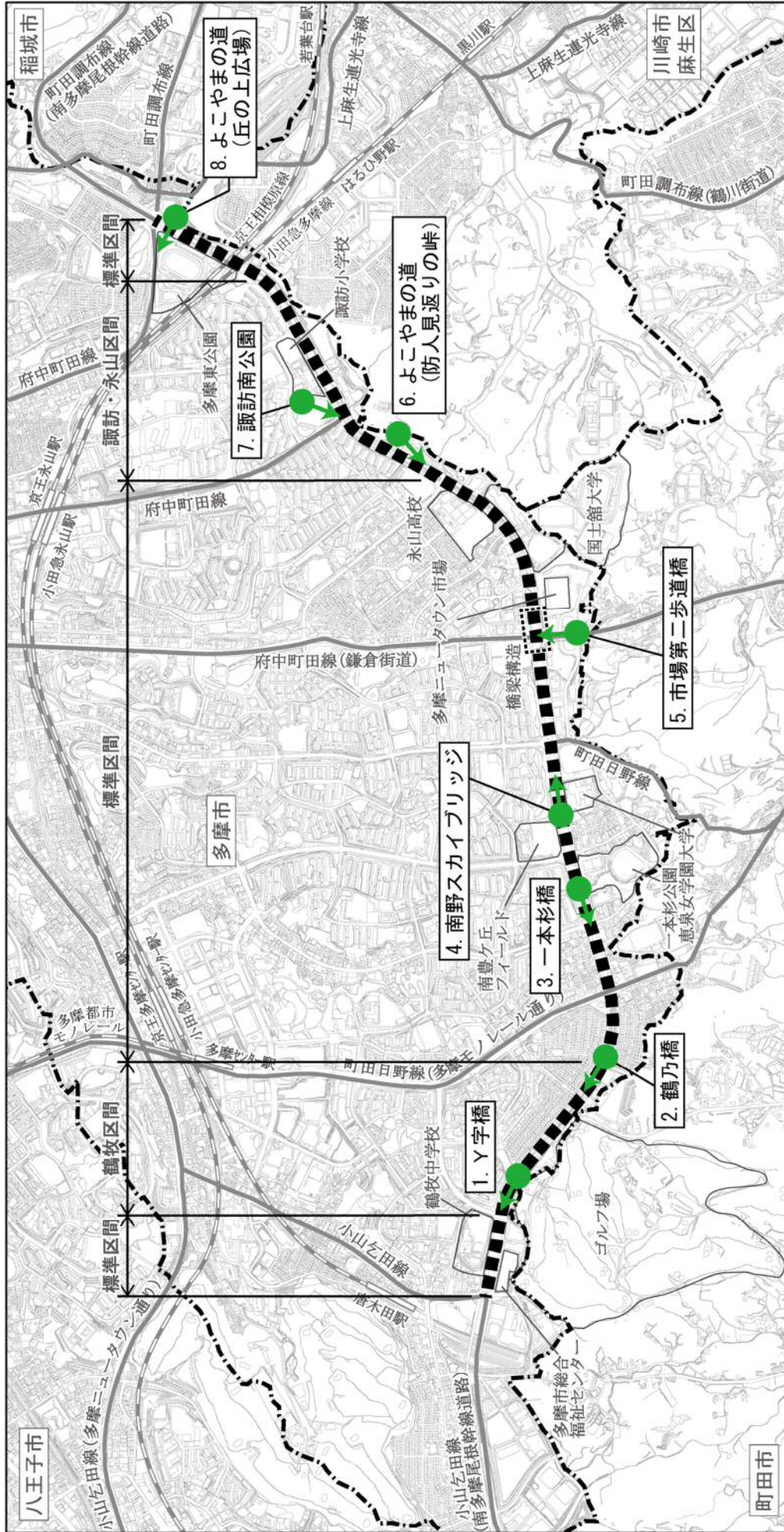
調査地域は、計画道路及びその周辺とします。


(3) 調査手法

調査手法は、表5.7-2に示すとおりとします。

表5.7-2 景観における調査手法

区 分		調査手法
調査時点 及び 調査期間	ア 予測した事項	工事の完了後とします。
	イ 予測条件の状況	「ア 予測した事項」と同一の時点とします。
	ウ 環境保全のための 措置の実施状況	「ア 予測した事項」と同一の時点とします。
調査地点	ア 予測した事項	①計画道路の存在に伴う主要な景観の構成要素の改 変の程度及びその改変による地域景観の特性の変 化の程度 計画道路及びその周辺とします。 ②計画道路の存在に伴う代表的な眺望地点からの眺 望の変化の程度 図5.7-1に示す8地点とします。
	イ 予測条件の状況	計画道路及びその周辺とします。
	ウ 環境保全のための 措置の実施状況	計画道路及びその周辺とします。
調査方法	ア 予測した事項	①計画道路の存在に伴う主要な景観の構成要素の改 変の程度及びその改変による地域景観の特性の変 化の程度 現地調査及び関連資料の整理による方法としま す。 ②計画道路の存在に伴う代表的な眺望地点からの眺 望の変化の程度 写真撮影等による方法とします。
	イ 予測条件の状況	現地調査及び関連資料の整理による方法とします。
	ウ 環境保全のための 措置の実施状況	現地確認（写真撮影等）及び関連資料の整理による 方法とします。





 メートル
 0 250 500 1,000 1:25,000
 図5.7-1 代表的な景観眺望地点
 及び眺望の方向・調査地点

- 凡例
-  計画道路
 -  都県界・市界
 -  道路 (主要地方道・一般都道)
 -  鉄道・モノレール
 -  鉄道駅・モノレール駅
 -  景観調査地点
(矢印は撮影方向)